



## 第2次亀山市総合計画について

亀山市の市政推進における最上位計画である、第1次亀山市総合計画が本年度末で終期を迎えることから、新たに、本市の将来を見据えた中長期戦略として、第2次亀山市総合計画基本構想(案)と前期基本計画(案)を策定しました。

基本構想については、これまで地方自治法において定められていた策定等に関する義務付けが、平成23年の法改正により撤廃されました。しかしながら、市政を総合的かつ計画的な推進するためには、引き続き、総合計画が必要と考えたことから、市の条例を根拠として、主体的な意思により、第2次亀山市総合計画の策定を進めてきました。この程、策定を終えた第2次亀山市総合計画、基本構想(案)と前期基本計画(案)については、来る3月亀山市議会定例会での議決を目指しています。

この基本構想においては、将来都市像、「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」を掲げています。

これまで本市が培ってきた、顔の見える5万都市としての小さいながらも「暮らしやすさ」や「心地よさ」を兼ね備えた活力ある都市への成長を土台として、自然・歴史・産業が調和した「まち」の中で、健やかな日々を過ごせる「ひと」が暮らす亀山市。こうした本市の心地よさを「まち」も「ひと」も健康な状態であると捉え、それをさらに高めるため、持続的に発展し続けられる「健康都市」でありたいという想いを込めています。

また、前期基本計画については、将来都市像の具現化を図るために、基本構想において位置付けた6つの施策の大綱の下、30の基本施策とそれぞれの分野における施策の方向を示しています。中でも、人口減少社会に対応し、持続的に成長することができるよう、「健都さぷり」プロジェクト、「安全力ジャンプアップ」プロジェクト、「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト、「ジモトノココロ」プロジェクト、「そして、親となるまち」プロジェクトの5つの戦略プロジェクトを掲げ、重点的に取り組むこととしています。

更に、第1次実施計画において、前期基本計画の施策を推進するための主要事業について、平成29年度からの3箇年において、105事業、計画総額約157億円とし、このうち、95事業、約54億円を平成29年度当初予算(案)への計上を行い、これらの事業を着実に推進することで、将来都市像の実現を目指していきます。



〔別表：戦略プロジェクト推進のために取り組む主な事業〕

プロジェクト名	事業費（千円）	事業数	主な事業
『健都さぷり』プロジェクト	1,255,400 (445,100)	11事業 (11事業)	三重大学亀山地域医療学講座支援事業 地域医療連携システム導入事業
『安全力ジャンプアップ』プロジェクト	641,400 (275,846)	6事業 (5事業)	地震対策・木造住宅補強事業 橋梁耐震化補強事業
『JR亀山駅周辺拠点力向上』プロジェクト	3,821,200 (944,394)	4事業 (4事業)	亀山駅周辺整備事業 地域生活交通再編事業
『ジモトノココロ』プロジェクト	452,500 (228,097)	6事業 (6事業)	かめやま文化年事業 「関の山車」会館整備事業
『そして、親となるまち』プロジェクト	1,281,500 (356,033)	11事業 (9事業)	長期休暇子どもの居場所事業 定住世帯住宅取得促進事業

※事業費・事業数は、平成29年度から平成31年度の3箇年の合計で、下段（ ）は平成29年度当初予算に対応しているものです。